

年頭所感 相談役会長 戸沼平八



「地域に信頼される会社を、存在感のある会社を目指そう！」

あけましておめでとうございます。今年には戦後70年、節目の年です。

2012年には世界の指導者が大きく変わり、以来激動が続いて世界中に緊張感が高まっています。

ひとつはイスラム過激派によるテロ事件。アジアにおいては、日本、韓国、東南アジア諸国と中国との領土領海の線引きに係る紛争。そして米欧によるロシアに対する金融制裁など、今年も激しく揺れ動く年になると思われます。

ともすれば日々の業務に追われがちになりますが、世の中の動きに注目しつつ、今年も足元を見つめて地域に信頼される会社を、そして存在感のある会社を目指していきましょう！

創業80年の歴史を更に刻み続けるためには、社是である「誠実と努力」を基本に、社員が一致団結することが必要条件であり、加えて各人がリーダーシップを発揮することが絶対条件なのです。

我が社は道南を中心に建設業を営んできましたが、1999（平成11）年のノンフレーム工法の採用を機に、防災減災工事の旗手として道内にくまなく展開してきました。そして2011年の東日本大震災を契機に、災害復興に微力を注ごうと宮城県名取市に営業所を開設し、閑上漁港（名取市）、洞万治山工事、湯ノ倉治山工事（いずれも栗原市）を施工して完成にこぎ着けました。

どの工事も、現地の地形や環境条件による見直しで変更を余儀なくされ困難を伴いましたが、発注者の皆さんから感謝され、信頼される会社として高い評価をいただきました。

高評価の背景にあるのは、担当職員一人ひとりがそれぞれの持ち場で、リーダーシップをもってコミュニケーション能力を発揮してくれた賜物だと感じています。現場の完成形を想像して、施工プロセスに人と資源を投入するタイミングを見極め、必要と思えば工法の提案もしてきたということです。

今更精神論を言うわけではありませんが、もの作りに向けた確固たる意思と熱意があれば、関係する人々は協力してくれて実現可能となります。そのような「人間力」に人は惹かれるものです。私は「人の営みに対して理解と尊厳の念を持つこと」を人間力と学びました。

今年も皆さん様々な出来事に遭遇すると思いますが、学ぶこと、学び続けることをお願いします。

そしてこの会社の一員として、地域に信頼される会社、存在感のある会社を目指して今年も共にがんばって参りましょう。

（2015年1月5日 新年朝礼において。写真も。都市名は筆者加筆。）



安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
平成27年2月15日
向春号 <http://www.tonuma.com/>
第208号

労災保険率改定

厚労省の労働政策審議会は、労災保険率の改定に向けて答申を出しました。それによると、建設事業の労災保険率（労務比率ではありません）は、「道路新設事業」が1000分の16から11に、「建築事業」が1000分の13から11に、「その他の建設事業」（当社が行う土木工事の殆どが該当します）が、1000分の19から17に引き下げられます。

建設事業の労災保険率の引き下げの背景として、労災の発生状況よりも賃金総額の増加にあるとしています。賃金総額増加の要因としては、公共工事の設計労務単価の上昇や、東日本大震災以降の復興需要の拡大が挙げられています。

厚労省は、過去3年間の労災発生状況などを踏まえて、原則として3年ごとに改定しているそうです。

今回の改定案は今年4月1日の省令施行を目指しているということです。建設事業8業種のうち他の5業種（ほ装など）も改定になりますので、詳細が分かりましたらメールや部門会議でお知らせします。

風邪にかかってしまったら..

旧暦で2月を「如月（きさらぎ）」と称して、「まだ寒さが残っているのを衣を更に重ね着する」という解釈は俗説だと言いますが、この時期、説得力ありますよね。

さて、風邪を早く治すためには胃腸の負担を少なくするための「消化のよい食事」を症状別に調べてみました。

のどの痛みや咳があるとき：熱い料理や香辛料などの刺激物は控えて、うなぎやレバーなどに含まれているビタミンAと、れんこんの粘り成分に粘膜の修復を促す作用があるそうです。

熱が出たとき：水分とエネルギー、たんぱく質、ビタミンなどの消費が多くなるので、こまめな水分摂取をして、エネルギーに変わりやすい炭水化物（麺類・ごはん・パン）を中心にエネルギーの補給を心がけてください。水分補給には、エネルギーやビタミンなどが摂れる果汁や野菜スープがおすすめなのだそう。

鼻水・鼻づまりがあるとき：血行を促して、鼻の粘膜の炎症を抑えるには、抗酸化作用のあるたまねぎやブロッコリー、大豆が有効ということです。

室内温度や湿度を適切に保つことと、十分な休息をとって埃やウイルスに負けない体力を整えて下さい。

平成26年の災害発生状況（速報）

		平成25年	平成26年
死亡	全産業	64	61
	建設業	22	21
休業	全産業	5,981	5,895
	建設業	942	947



平成26年1月から12月までの1年間における道内の労働災害発生状況が、北海道労働局から発表されました。

全産業の死傷者（傷者は休業4日以上）は5,956名で、前年比-89名（死亡-3）と前年を1.5%下回り、やや良好に推移しました。

建設業に目を向けますと、死亡は前年比-1、休業は+5となっており概ね横ばいの状況です。部門会議での報告を思い出して下さい。函館労働基準監督管内での死亡災は2件でした。1件は2月にせたな町で発生した、不整地運搬車を貨物自動車に積み込む際に貨物自動車の運転手が鳥居柵と運搬車に挟まれたもの。2件目は11月に八雲町で、軌道施設工がトラックから積み荷を降ろす作業中、道路を走ってきた飲酒運転の乗用車に激突されたものでした。

1件目は不整地運搬車の前後進の操作を誤ったとみられるもので、事前に運搬車の走行延長に立ち入らないなどの手順を確認しておけば防ぐことができたものと、悔やまれる事例でした。

一方2件目は、何の落ち度もない30代の被災者が作業中に突然生命を絶たれるという事例でした。公道における事故防止対策など、打てる手はあったはずで。

なお今回示された数値は速報値であり、最終確定値が発表された時点で改めてお知らせします。

冬季はCO中毒に注意

昨今の道内の大雪情報発表の際は、車の排気マフラーからの排ガスへの注意喚起が叫ばれています。

CO中毒は、暖房機などの不完全燃焼で発生する典型的な中毒として昔から問題にされており、特にこの時季は密閉された部屋や作業場で、喚起不良によって多発する傾向にあります。

具体的には、練炭などの使用、暖房や湯沸かし器具の使用、自動車や発電機などの内燃機関の排ガス、アーク溶接などです。

COは無色・無臭で刺激性もありませんが、毒性の強い気体です。そのため、その存在に気づきにくく、COへの無知や油断が事故を招いています。密閉した工事現場などで、発電やコンクリート養生のために内燃機関の排ガスで中毒した例が多く報告されています。

CO中毒は、死亡に至らなくても後遺症が心身をむしばむことはよく知られています。CO中毒の危険が多いこの時季、CO事故の防止と予防を心がけて下さい。

余談ですが、喫煙者が吸入するタバコの煙には、約2%（2,000ppm）前後のCOが含まれているそうです。この濃度はCOの許容濃度（50ppm）の400倍です。（※許容濃度：連日8時間曝される場合の上限値） 桑原くわばら..

